



ひがしなるせ

議会だより

発行
No.124
平成14年7月20日



河川も美しく
（大沢川の美化）

| | |
|--------------------|----|
| こんなことが決まりました | 2 |
| 合併論議など（一般質問） | 6 |
| こんな質疑が | 10 |
| あなたの地区の要望は | 12 |
| 開田村などを視察 | 15 |
| 私もひとこと（榎台・高橋みちこさん） | 18 |



(村道宮田上林線予定地)

こんなことが 決まりましたが

六月十八日から二十一日までの会期で定例会が開かれ、平成十四年度の各会計補正予算や国保税条例改正案などが提出された。会期の最終日には、教育長の辞任に伴う教育委員会委員の選任議案が追加提案された。議員発議による国の機関などへの意見書が提出され、これらすべての議案などは原案可決・承認とされた。

6月定例会

国保税の値上げ

改正案を可決

療養給付費（医療費の七割に相当する額）などの支払いは、比較的安定しているが、昨年度から一段と「老人保健拠出金」が増加しており、基金の繰り入れなどで国保税の急激な上昇を抑えるよう努力をしている。

しかし、対象者の所得の減少や対象人口、世帯ともに減少しており、やむをえず税率の改正をおこなうものである。

税率の改正では、資産割については「資産があれば必ずしも税金の負担能力があるとは限らない」



国保診療所

ことから引き下げた。所得割、均等割額、平等割額は引き上げざるを得なかったと説明があった。

議員からは、納税者の立場で言えばもう限界である。「リストラヤ、仕事がなく所得が下がり、税があがるのでは問題がある。」

「基金や繰越金をもつと予算でみるべき」との反対の声もあった。賛成九、反対四の賛成多数で、原案可決となった。



桜並木を生かせるか

村教育委員会委員に

土谷順一氏を満場一致で選任



土谷 順一氏（六十六歳）
田子内字源頭畑九十一
【新任】

土谷氏は、平成八年三月に東成
瀬小学校長を退職、同年四月より
村公民館長を務めている。

（七月一日の教育委員会で、
教育長に選任されている）

村議会議員補欠選挙で

佐々木東太郎氏が当選



住所 田子内字田子内
職業（年齢） 農業（六十九歳）
党派・議員歴
日本共産党・一期目
総務教育民生常任委員

はからずも村議会議員になる機
会を得ましたこと、自分としても
意外に思っている現状です。
いま話題の市町村合併など、議
会にとっても重大な諸問題が多々
あります。

誠意一心で住民の声が行政に届
くよう、また、自身の判断で住民
の益になるよう頑張りますので、
よろしく願います。

国保税率を変更

（医療費分）

| | | | |
|-----------|---------|---|---------|
| ○所得割額 | 5.75% | ⇒ | 6.70% |
| ○資産割額 | 18.0% | ⇒ | 16.5% |
| ○被保険者均等割額 | 18,900円 | ⇒ | 20,300円 |
| ○世帯平等割額 | 19,300円 | ⇒ | 20,900円 |

（介護保険分）

| | | | |
|-----------|--------|---|--------|
| ○所得割額 | 0.85% | ⇒ | 0.75% |
| ○資産割額 | 3.40% | ⇒ | 2.40% |
| ○被保険者均等割額 | 4,000円 | ⇒ | 4,500円 |
| ○世帯平等割額 | 4,900円 | ⇒ | 3,700円 |

（軽減分も改正された。詳しくは税務課へ）

村道宮田上林線の新設など

3億3千960万円追加の一般会計補正予算を可決

※歳出に関する主な質疑は10・11ページに

| 案 件 | 議決内容 |
|---|------------------|
| 村教育委員会委員の選任について (3ページ に関連記事を掲載) | 原 案 可 決 |
| 村手数料条例の一部改正 (課税台帳の証明の追加) | |
| 村診療所使用料及び 手数料徴収条例の一部改正 (居宅サービスでの費用徴収関係) | |
| 国民健康保険税条例の一部改正 (2ページ に関連記事を掲載) | |
| 村固定資産評価審査委員会条例 の全部改正 (地方税法改正に伴う整理) | |
| 過疎地域自立促進のための 固定資産税の課税免除に関する条例 (旅館業の免除期間の延長) | |
| 防災情報センター設置条例 (新設に伴うもの) | |
| 村テレビ共同受信施設工事分担金徴収 条例の一部改正 (補助事業に伴う改正) | |
| 村営土地改良事業(入道地区基盤整備 事業)分担金の徴収 | |
| 村道路線の認定 (蛭川支線、川通馬場線の2路線) | |

- ◎観光施設改修工事などの追加……………3,520万円
- ◎道路維持修繕追加……………100万円
- ◎道路維持修繕測量設計委託など……………150万円
- ◎道路維持工事……………1,600万円
- ◎道路新設測量設計委託など……………1,840万円
- ◎道路新設工事……………9,150万円
- ◎道路新設用地購入……………2,010万円
- ◎道路新設立木補償追加……………100万円
- ◎カントリーパーク工事追加……………1,900万円
- ◎地域防災拠点施設整備工事追加……………3,610万円



防災情報センター

- ◎防災情報センター備品購入……………300万円
- ◎東中村単講師減……………△357万円
- ◎スポーツ講演会……………130万円



檜山台の生活も点検

- ◎檜山台地区の負担金調整のため

- ◎14年度入道地区分担金の額を
107-ℓ当たり 4,735円

納期限を定めた。H15.3.31に設定

主な予算・条例など

※請願・陳情については最終ページに掲載

【14年度一般会計補正予算の主なもの】

- ◎村勢要覧企画作製委託料……………250万円
- ◎用地取得……………380万円
- ◎公有林整備管理委託……………2,154万円



岩井川のいちご畑

- ◎地域おこし支援事業助成……………300万円
- ◎さわやかなるせ夢プラン支援事業助成…200万円
- ◎情報化対策委託……………200万円
- ◎情報化対策リース料……………202万円
- ◎テレビ難視聴工事……………657万円
- ◎テレビ難視聴解消補助……………212万円
- ◎健康東成瀬21計画アンケート委託 …… 108万円
- ◎脳ドック補助追加……………200万円
- ◎下水道事業特別会計繰出金……………225万円
- ◎可燃ゴミ箱購入……………134万円
- ◎集落施設改修工事……………210万円



滝ノ沢センターを計画

- ◎自然乾燥米生産支援事業補助……………400万円
- ◎平良地区排水工事……………312万円
- ◎松くい虫被害木伐倒作業委託……………158万円
- ◎森林整備地域活動支援……………770万円
- ◎特産品新規製品化販促助成……………262万円
- ◎圧雪車などの修理……………606万円

| 案 件 | 議決内容 |
|--|------------------|
| 14年度一般会計補正予算 〈3億3,967万3千円 を追加した〉 (10,11ページ に関連記事を掲載) | 原 案 可 決 |
| 14年度国保特別会計 (事業勘定) 補正予算 〈8千円を追加した〉 | |
| 14年度国保特別会計 (直営診療施設勘定) 補正予算 〈歳出の組み替え〉 | |
| 14年度簡易水道特別会計補正予算 〈1,564万円を追加した〉 | |
| 14年度老人保健特別会計補正予算 〈292万1千円を追加した〉 | |
| 14年度介護保険特別会計 (保険事業勘定) 補正予算 〈256万1千円を追加した〉 | |
| 14年度下水道事業特別会計補正予算 〈225万8千円を追加した〉 | 原 案 承 認 |
| 専決処分 村税条例の一部改正 (地方税法改正に伴う整理) | |
| 専決処分 13年度村繰越明許費繰越計算書 〈一般会計と下水道事業会計〉 | |
| 専決処分 13年度一般会計補正予算(第7号) 〈3,437万円余りを追加した〉 | |

富田 義行 議員

合併のデメリットも周知が必要

村長/合併で住民サービス低下は必然



問 住民に対する情報提供材料では、合併のデメリットも周知が必要。どのような内容と具体的な日程で情報提供をしていく予定か。

村長 合併すれば住民サービスの低下は必ず起き、発言力低下も否めない。十日設置の合併対策本部で作成した現状把握の資料などに基つき村の将来計画をつくる。その資料をもとに九月下旬には各地区に出向き座談会で説明し、そこで出された意見をよく整理したうえでアンケート調査を行う。

アンケートの内容は、「答え」を意図的に誘導しないよう配慮し、住民の意向を正確に把握、間違いない方向付けをしたい。

合併しないでやってゆくには、村民本位の行政改革が必要

問 「究極の住民犠牲の行財政改革、合併」に抵抗できる「村が生き残れる究極の住民本位の行財政改革、やってゆける村づくり」の指針もこの機会に作り上げなければならぬ。

これまでの概念を取り払うスケジュールでの人事政策、財政・事務事業の徹底した見直しが必要で、合併に関する情報提供のコミュニケーションづくりと村の行財政改革

大綱の抜本見直しは不可分のものだ。この作業についても「十三年度内には見直しの結果が村長に示される予定」となっていたが、これはどうなっているのか。

村長 相当身身までつっこんだ内容のことを改めなければ、行財政運営が厳しくなることは認識している。今までやってきたからと漫然と進めるのではなく、不要不急のものを抜本的に見直す姿勢が求められる。

大変残念だが、行財政改革の抜本見直しは進んでいない。自分達のやっていることを見直すというのはなかなか難しいようだが、悠長なことも言っていない。慎重にかつ急いでの見直しを督促する。

村は檜山台地区住民への頼りがいがある役割を

問 ダム建設は十七年から付け替え道路の工事が始まるとされている。

檜山台集落に残る方に対しては、ダム建設による生活環境への悪影響を絶対させないよう、村がそのための頼りがいがある存在となるよう再度求めておきたい。

また、ここに今住んでいる方々が、後になって「村から離れなければよかった」ということにならないようすべきだ。

条件が許す方には、村から去らずに住み続けるよう説得する姿勢も村がとるべきだ。

村長 村は移転を促進させようとしてはいない。

今回の補正予算で同地区のテレビアンテナ塔の設置にも「地元ではとても負担できないだろう」ということで、数百万円の工費がかかるものを条例改正し村の支援で一戸当たり三万円の負担でできるように提案した。

地元の意向を重視していることをこれで理解いただけると思う。

質問

他の質問事項

- ・川の濁り長期化の解決策は
- ・国道397号も春期早期開通を
- ・村長選での政策目標の実現手順



知事を迎え合併トーク



他の質問事項

・第三セクターの従業員採用

問 国、県も市町村合併を積極的に進めている。

この市町村合併が東成瀬村にどのような結果をもたらすと考えているのか、村長として責任ある立場からも、大きな意味を持ってくと考えるので、村長の基本的な考えを伺う。

村長 村民の方々に提示できるような資料を六月、七月中にまとめ、全部がまとまり次第九月には座談会を開き、アンケート調査を行うというふうに、住民の意向をまず聞いて、確認しながら進めて行くというのが、私の基本的な考え方である。

村の地理的社会的条件についての考えは

問 合併を進めるにしても東成瀬村の場合は、行政的な面から見れば湯沢市雄勝郡、日常生活面から見れば、横手市平鹿郡の影響を多く受けていると思う。

そういうことも、合併を考える上では無視できないことである。そういった住民感情も考慮して進めなければならぬと思うが、村ではどう進めようとしているのか聞く。

村長 行政圏は湯沢雄勝、経済圏



量も多くなると思われる。今までのような管理では、住民が納得しないのではないかと。

本管の入れ替え工事が必要と思うが、現時点ではどのような考えを持っているのか聞く。

村長 破損は依然としてあるということでは事実であるし、否定することはないが、合併浄化槽を付けるにあたって住民の不安材料であると思うので、破損した場合は早急に復旧するという前提で努力したい。

本管の入れ替えについては、村内の簡水の全体調査をしたので、これを基にして計画を進めたいと考えている。

榎山台の移転はどこが主体的に進めているのか

問 榎山台の住宅地区は国の用地買収計画には入っていないなかつたと思うが、どこが主体的にどのような経緯で進められているのか。

村長 榎山台の移転は、当初は全くなかつたが、地元の方々から「将来を見据えて移転する場合何か補償がないだろうか」という話で、湯沢工事事務所に打診して、移転する場合の提案をいただき話し合いをしている状況である。

田子内簡水本管は入れ替え工事をすべき

これはあくまでも合併を前提にしたという話ではないので、お互い資料を提出しあいながらまとめたいといった考えで進めているところだ。

問 田子内簡水は今ままで度々本管の破損があり、これまでも本管の入れ替えの必要があると述べてきた経緯がある。

合併浄化槽工事も始まり水の使用



伊勢谷 政 雄 議員

市町村合併、村長の基本姿勢は

村長/座談会を開き住民の意向を聞く

水道基本構想と簡水改修計画は

村長/水道事業の基本姿勢は安全で安心な水の供給



問 昨年村が策定した水道基本構想の頒布と実態調査の説明を伺うと同時に、供給開始から四十年を経た滝ノ沢簡水の改修計画を聞く。

水道施設の現況は、集落の北側上掃の山岸に設置した貯水槽上部のブロック積み滅菌室は、二十年以上前から計器類等が一切作動せず使用不能のままである。

この応急処置として、約一平方四角のトタン張り小屋にポリ容器を置き、水槽の蓋から塩素の点滴で対応している。

二十年の間には、小屋が何回か潰れたり、風で飛んだりし、その都度トタンの張り替えのみである。

この程度の簡易構造で滅菌室と認められ、料金徴収も可能なものなら、何千万円の工事で設備することは過剰投資にも感じられる。村長自身の目で確認する、行動力を喚起したい。

こうした状況に対し、保健所等よりの指摘の有無を聞く。

村長 改修計画については、頻発する漏水事故地域や施設の老朽化等を勘案し対応したい。

昨年度策定した基本構想も、この実態調査の中で改修計画や変更認可申請の準備をしている。

滝ノ沢簡水に関しては、水質検査で指摘事項はない。

石綿管の入れ替えと 消火栓の統一を

問 水は食の原点、生命の源と言っても過言ではなく、飲み水こそは、すべての食品に優先し、安心安全なものであるべきだ。

石綿管の布設は滝ノ沢簡水に千四百七十九メートルある。

人体に有害ということで、他の自治体は入れ替え済みである。

また、消火栓は、滝ノ沢地区には無く、樽台、五里台の全部と、田子内の一箇所は、口径が小さく全村統一されていない。消防車への連結可能も統一規格に改めるべきである。これを統一すべきは、初歩の問題であり、とっさの場合の混乱は避けられない。

産廃投棄と村の環境指導

村長 基本構想は、後日提示する。石綿管については、耐久性破損率を考えた他の導水管と替わると思いうし、消火栓の口径は統一する。

問 社会的にも大きな問題となっているゴミ処理について、一部企業者の中には、ゴミの持ち帰りを暗黙のうちに依頼する雇い主もあり、モラルを疑うようなこともあるようだ。

また、近年は、大型農機具、電気器具の粗大ゴミや廃車の自動車等畑や山に年々増えている。

私有地であれば、放置が可能なのか、こうした廃棄物に対し現在村はどのような対策を取っているのか、今後住民に対しどのような規制、指導を啓発していくのか。

村長 村の環境指導として、最重要課題として認識している。

産廃や粗大ゴミの投棄はたとえ私有地でも法に抵触する。

村の環境保全条例でも、住民の責務を明確に定めており環境指導が可能である。今後とも広報によるPRや各地区長、行政協力員を通じ環境保全に努める。



菅生田児童館の隣にもゴミが



問 先の村長選で行政手腕が評価された形で再選と認識し、敬意を表するところであるが、佐々木村政二期目のスタートに際し改めてこの場で、再選後の心境・並びに抱負を伺う。

村長 村の方々の目線に立った行政とのことで、計画がほぼ実現の目途がたち、二期目については、一歩進めて「安心して暮らせる村づくり」を念頭にしている。

二期目の重点施策は

問 村長は生活環境の充実・整備を常々言っているし、取り巻く環境は大変厳しいと思われるが、何に対して重点的に力を入れていくのかを聞く。



の計画などを聞く。

村長 当面は、現在建ててある住宅と同じものを一棟建築し、四世帯を同居できるようにしたい。七月中に入札を実施したい。これで、若者や収入の低い方を対象とした住宅は一区切りとした考えである。

さらにこれらの申し込み状況などを勘案し、調査しながら老人世帯やUターン者など幅広い住宅事業を推進したいと考えている。

宅地分譲の計画は

問 今後宅地分譲も含めて、用地拡幅の計画はあるのか。

村長 宅地分譲については、住民からの要望も多く、現在村営住宅が建設されている二階野地区だけでなく、他の地区についても視野にいれて検討する必要があると考えている。

村営住宅の今後の計画は

問 少子高齢化の時代といわれる今日、村に若者定住、活性化が不可欠と認識する。

先に建設した村営住宅は、入居希望者も多いと聞いており、今後

佐藤辰雄 議員

再選後の心境、抱負は

村長/安心して暮らせる村づくりを目指す



スポット

こんな**質疑**がありました



改修工事を計画 ホテル・プラン

一般会計補正予算（三億三千九百万円余）

（主に村道宮田上林線関係など）

に関する議題にスポットをあててみた。

賛成八・反対五の賛成多数で原案可決

「歳出」に対する主な質疑

顧問弁護士の委託とは

佐々木正天議員 今回の補正で新たに出てきたが、これは何を想定して予算化したものか。

総務課長 今までは例がなかったが、これからの事業に対して、様々な難題が出るのが予想されるので、専門的立場から指導・アドバイスをお願いしたいための、予算化である。

観光予算の工事費追加は

高橋健議員 当初予算に一千万円の予算を置いているが、今回は三千五百万円余りを追加している。具体的な項目は。

企画課長 ジュネスのラメン釜三台とオープンレンジの交換工事、プラン・ジョリフェームのボ

イラーの修繕工事、スキー場のリフト改修。栗駒山荘の浴室と建物改修である。

工事費の一番大きなものは、山荘のガス配管の腐蝕による取り替え工事である。

村道新設は村の財政計画を見据えた上なのか。

富田議員 村道宮田上林線は、一般質問でも聞いていたが、村の財政状況が厳しい今の時期に、やらなければならない事業か。

建設課長 総合発展計画や過疎計画にもあわせて、村の事業として必要と計画している。

地域やバイパス周辺の活性化など、学校統合とあわせてグラウンド整備も合わせた事業として、全体的に将来を見据え、財政とも充分協議

をした上のものである。

公園費の工事内容は

伊勢谷議員 追加工事の内容を聞く。

建設課長 パークゴルフ場については二コース完成しているが、これに加え、林間コースを九ホール造りたいというものである。

地域おこし支援事業と夢プラン支援事業とは

高橋健議員 判る範囲内での内容を聞く。

企画課長 地域おこし支援事業はイベント助成である。またさわかなるせ夢プランは、国・県などの補助によらないで事業を始めようとする方（小規模な）への助成ということで考えている。



昨年完成したパークゴルフ場

松くい虫の被害木伐倒は補助が付かないのか

佐々木正夫議員 他町村では補助事業として行っていると聞く。当村ではなぜ補助事業にならないのか。

農林課長 この防除については県単の補助事業もある。しかしこの補助事業には条件がきつく、伐倒したものを煙蒸または焼却しなければならぬ。

当村の場合、崖などの急峻なところに多いため、処理の関係で村単独事業として実施している。

檜山台のテレビ共同施設の補助金算定は

富田議員 受益者分担金と補助金との関係を詳しく説明を。

総務課長 共同施設工事の分担金は、国三分の一、県六分の一、村六分の一、受益者負担三分の一となっている。

しかし、七世帯しか住んでいないので負担金が非常に高くなることから条例改正し、三万円の負担金で残りは村からの補助として処理できるようにした。

循環型農業システムとは

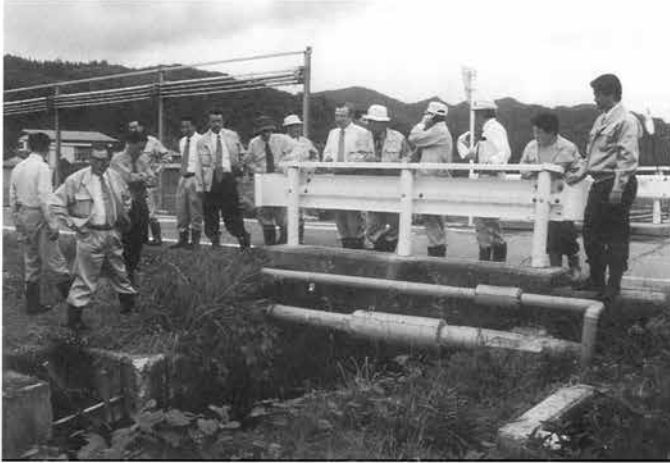
高橋健議員 これはどういうものなのか。内容を聞く。

農林課長 農畜産物の生産から流通、消費までの間に発生する有用循環資源を再利用するため、「生ゴミの資源化を考える会」に委託し羽後町の堆肥センターに運んで堆肥と混ぜ処理するというものだ。



松くい虫を処理（田子内）

あなたの地区の「要望」は = 議会議員が現場調査を実施 = このように



村 内 視 察

(下 田)

議会では農林、建設課の同行のもと、各地区から出された要望について、六月十一、十二日に現地視察を行った。

視察当日は各地区の役員の方々に現地案内や事情説明などに立ち会っていただき、現地の実態や要望の内容などを確認した。議会は、村長に対して「各地区の要望などについてどのように対処または処理して行く方針であるか」を確認したところ、次のような回答をいただいた。

議会ではこのことについて、村の単独事業としての着工促進の働きかけや国・県などへの早期事業採択の要請など、議会の立場として積極的な支援をして行くことにしている。

平成14年度 地区要望事項と村の処理方針一覧

| | 要 望 事 項 | 村 の 処 理 方 針 |
|-----|---|---|
| 滝ノ沢 | ①滝ノ沢簡水の改修 ②菅生田児童館前の舗装工事 ③村道不動沢線維持補修 ④村道大日向線 法面崩落防止工事 ⑤大日向 小松沢口 なだれ防止工事 | ①水道事業の基本構想を踏まえ、地域と相談しながら進めたい。 ②前庭は児童の育成を考えれば、舗装をしないことが良く、除雪方法を協議検討したい。 ③今年度維持補修工事費で実施（6月補正）。 ④機械借上げで対応したい。 ⑤県に要望していく。 |
| 下田 | ①田子内簡易水道タンクの増設 ②大沢川魚道の設置と河床の改修 ③村道大掬線、神社、バイパス間の拡幅改良 | ①滝ノ沢の①と同じ。 ②引き続き、県に要望していく。 ③検討させてほしい。 用地は地区でとりまとめ |
| 田子内 | ①田子内簡易水道タンクの増設 ②村道北方線の道路拡幅改良舗装 ③北方地区の流雪溝の設置 ④迎田地区の流雪溝の整備 ⑤村道館ヶ沢線の改良補修整備を ⑥村道沢方線から大沢川堤防間の拡幅改良舗装 ⑦天神社境内の遊園地整備 (水環境整備事業関連として) | ①滝ノ沢の①と同じ。 ②今年度平面調査を実施する。 用地を地区でまとめてほしい。 ③可能性調査を昨年実施し、技術的に高さの関係で困難と判断。 ④調査を実施した結果、技術的には可能。 地域のまとまりが必要と考える。 ⑤維持補修工事今年度対応したい。 ⑥用地を地区でまとめてほしい。 ⑦水環境整備では計画がなく、遊園地整備は別事業となる。 |
| 平良 | ①村道平良線の流雪側溝の新設を ②村道平良線から分岐し 代行道路へとつなぐ村道の新設を ③村道下村2号線の舗装を ④U字溝の現物支給を ⑤岩ノ目沢支流西ノ沢林道延長を | ①調査結果、技術的には可能である。水量確保で、補助事業で実施できるよう検討したい。 ②中山間地域整備事業で実施予定。 ③6月補正、継続で実施したい。 ④補正で対応したい。 ⑤水源の森整備事業で実施予定。 |

| | 要 望 事 項 | 村 の 処 理 方 針 |
|--------|---|---|
| 肴沢・蛭川 | ①村道蛭川線へつながる支線、村道の新設を ②前山林道より国道342号へ つながる村道の新設を ③蛭川清水の整備を ④肴沢、蛭川間の歩道に街灯を ⑤蛭川地区合同テレビアンテナ位置の変更 | ①6月補正、本年度実施する。 ②技術的に道路勾配の問題がある。 ③中山間地域整備事業で実施予定。 ④発注済み。 ⑤地区の意向を聞き対処したい。 |
| 岩井川・入道 | ①遠藤堰水門改良 ②国道342号線流雪溝整備（城下地区） ③横手東成瀬線の拡幅改良を ④横手東成瀬線の側溝整備を（長平地区、野尻地区） ⑤村道馬場線より分岐の村道を除雪可能な道路に改良を ⑥バイパスより旧岩井川小学校への取り付け道路新設 ⑦農道の改良延長 | ①中山間地域整備事業で実施予定。 ②検討結果、一部逆勾配となり八卦沢には難しく、村道編入時に協議したい。 ③県に要望している。 ④県に要望している。継続して工事を実施中。 ⑤6月補正で擁壁下のルートで実施予定。 ⑥スタンド移設後に実施予定。 ⑦中山間地域整備事業で実施予定。 |
| 手倉 | ①水上線沢水路（流末）整備 ②村道の新設を（国道342号から上村道） （国道342号から八幡神社へ） ③真戸地区防護柵設置の追加を ④鳥谷沢より用水路の整備を ⑤手倉会館の改築を | ①治山事業では無理と県から回答を得た。補助事業では難しい。 ②次のステップでの生活道路計画で検討。道路勾配に問題がある。 ③新規、単独は難しい。 ④中山間地域整備事業で実施予定。 ⑤他地区との関係もあり、意向を聞き協議していきたい。 |
| 椿台 | ①重里台地区雪崩防止柵を（三千切） ②重里小沢の整備（長一宅橋の水路） ③村道松ヶ沢線の整備 ④ウル井地区の農道整備 ⑤地区内の排水路を成瀬川まで整備を | ①県に要望していく。 ②現地調査の上検討する。 ③山側を削って道路幅員確保より方法なし。 ④中山間地域整備事業で実施予定。 ⑤現地立ち会いの上検討する。 |
| 五里台 | ①生活用水路の修復 ②セン沢に流水溝を ③大場谷地尻に治山堰堤を ④つり橋の修復 ⑤作業道オワリ沼線の道路補修 | ①中山間地域整備事業で実施予定 ②県に要望している。 ③県に要望していく。 ④精査の上検討したい。 ⑤砂利敷きで対応したい。 |
| 谷地 | ①国道から下野への村道新設舗装 ②ヨロコ台林道の整備 ③村道谷地上村線の支線舗装 ④排水流末部分の崩落補修を | ①手倉②と同様。生活道路整備の次のステップで検討する ②砂利敷きで対応したい。 ③①と同じ、簡単にできればやりたい。 ④今年度実施予定。 |
| 天江 | ①天江下沢の改修を ②アンテナ道に砂利敷を ③作業道古川線の急な箇所の コンクリート舗装を | ①県に要望する。 ②砂利敷きで対応したい。 ③砂利敷きで対応したい。 |
| 大柳 | ①村道大柳下村線から義郎宅 までの村道新設、拡幅改良 ②国道342号から幸美宅 までの村道新設、拡幅改良 ③村道大柳下村線から大一宅 までの村道新設、拡幅改良 ④国道342号沿いと大柳旧道 線の流雪溝の設置 ⑤水路用U字溝の現物支給を | ①他の地区と同様。 （今後の検討に） ②同上。 ③同上。 ④県事業として、16年着手予定。 ⑤補正予算で対応したい。 |
| 草の台 | ①ワサビ沢の水路の揚げ口新設 ②ワサビ台槻ノ木線の整備を | ①中山間地域整備事業で実施予定。 ②森林整備事業で実施予定。 |
| 檜山台 | ①農業用水路の落ち込み改修 ②国道342号から庄太郎宅 までの村道新設、拡幅改良 | ①実施済み。 ②生活道路としては、他地区と同様である。 |



村 内 視 察 (五里台)

視察レポート

H14.6.25~6.27

議会では去る6月25日から27日にかけて
長野県開田村と富山県なんと農協の視察を行った
今月号では「視察レポート」を特集します。

長野県開田村 富山県なんと農協

これから村はどう
生き残るのか

総務教育民生常任委員 佐々木 武

平成四十二年頃には、わが村も
二千人くらいになると統計上で予
想されていることから、「二千人
規模の自治体運営」をテーマに今
回の研修先を選定した。

農畜産が主だが リゾート化が進行

開田村は、長野県の御嶽山のふ
もとに位置し、村の面積は百四十
九平方キロメートルあり、標高は
千百メートル余りの高原地帯で、
一年の平均気温は八・四度と非常
に低く、降水量は二千二百五十七
ミリメートルと比較的多い。
村の高齢化率も三十四パーセン
トと進んでおり、どこの町村も課

題は同じであると感じた。
夏の冷涼な気候を生かし高原野
菜の生産と肉用牛の飼育などを中
心とした農畜産業が主で、特に高
原野菜の白菜が有名である。
また、そばの栽培をして、清ら
かな水を利用し村営そば工場で加
工・販売をしている。

「冷涼な気候と清らかな水と自
然」を求め、別荘やペンションが
数多く点在するリゾート地であつ
た。

村の大きな課題は合併問題

少子高齢化が進行しているが、
一番の課題は「合併問題」で頭を
悩ませているとのことであった。



開田村議長の話聞く

これに関しては、近隣町村で温度
差があり、簡単には進まない状況
であった。

平成十三年三月に「合併調査特
別協議会」を設置し協議を開始し
た。村内各所で説明会・座談会を
開催した。

この話し合いの中では、村内の
状況は分かるが、近隣町村との比
較材料が少なすぎるとの声が多か
ったようだ。

木曾郡(二町・九村)の高校生
以上の全住民に、合併関係の八項
目にわたるアンケートを実施した。

合併特例法の期限が十七年三月
であることから、方向付けを急い
でいるように思われた。

村の将来を決定する話し合いを

わが村においても、これは人ご
とではない。
近隣町村の資料を住民に示し、
行政と住民が一体となって今後の
村の将来がどうあるべきか調査・
検討を加え、理解した上で合併の
是非を検討しなければと思ひ研修
を終えた。

ポ ー ト



加工所を視察

赤かぶの里は 越中五箇山のふもと

視察地のなんと農協、上平支店のあるところは、越中五箇山、世界遺産、合掌造り集落の下流にあり、上平村は人口八百五十人、従業員五十名とのことで、なんと

「赤かぶの産地・上平」を訪ねて

産業建設常任委員 柳 邦夫

農協は平成十三年に近隣の五農協が合併して発足したとのことであった。

合併前の昭和五十六年に「農村加工所」として村から当時の上平農協に委託され、合併後も引き続き今のなんと農協に委託されている。

工場の職員二名、従業員五名で運営している。昨年は赤かぶ二十三トン集荷、他にみょうが八トン、カボチャ十三トンなどを処理していると説明があった。

カブは高冷地に適し品質も良い。また、このカブは連作などによる根こぶ病に弱い反面、これに強い品種では肉質が堅く歯触りも味も落ちる。

対策として連作は極力避け、減反水田や、スキー場のゲレンデなどに作付けを拡大していると説明があった。

観光客に

赤かぶの直売

村では、生食用のカブの販売も

議会

4月より6月まで

日誌

平成14年

- 4月5日 東成瀬小学校・東成瀬中学校入学式
- 4月5日 議会常任委員協議会
- 4月5日 議会全員協議会
- 4月8日 議会広報対策特別委員会
- 4月12日 第3回価格安定基金運営委員会
- 4月15日 議会広報対策特別委員会
- 4月22日 郡町村議会議長会
- 4月22日 農業指導センター運営委員指導委員会議
- 4月26日 なるせ国際交流の会総会
- 4月30日 村追悼式
- 5月8日 雄勝郡町村議会三者会
- 5月10日 村の記念日
- 5月10日 議会全員協議会
- 5月15日 市町村合併トップセミナー（秋田市）
- 5月16日 雄平地区鉄道交通
推進期成同盟会総会（湯沢市）
期成同盟会総会（湯沢市）
- 5月16日 秋田県南高規格幹線道路建設促進
期成同盟会総会（湯沢市）
- 5月17日 村商工会総会
- 5月28日 知事との市町村合併トーク
- 6月2日 地区住民運動会
- 6月3日 山形新幹線大曲延伸推進会議総会（横手市）
- 6月4日 村水田農業経営確立対策に係る
転作等現地確認打ち合わせ会議
- 6月5日 秋田県町村議会議長会臨時総会（秋田市）

視 察 レ

議員倫理条例による契約締結報告

5月31日村長より兼業に関する条例第6条第1項に基づき次の報告があった。

1. 工事名称 東成瀬小学校プール塗装工事
2. 契約者 谷藤塗装店 代表 谷藤孝次
3. 契約金額 2,282,805円
4. 契約日 平成14年5月31日
5. 工事期間 平成14年6月1日
～平成14年6月25日
6. 工事概要 プール塗装、ライン・文字書き 他

直売所で勧められており、「赤かぶの里」のアピールのためにも生食用の販売は欠かせない。
加工所に持ち込まれるカブは、生産量の約半分くらいとの説明があった。
赤かぶなどの販売については、その八割が年間五十万人から六十万人の「五箇山合掌造りの里」観光客によるところが多い。
移動中の車窓から見る奥飛騨、木曾路の山並みの厳しさは、想像を絶するものであり、飛騨の語源も山ヒダ、衣類のヒダのようになっているのか？

明治の文豪、島崎藤村も名作「夜明け前」の冒頭に、「木曾路はすべて山のなかである」と述べている。
しかし、その厳しい斜面に延々と植林し枝打ち・間伐を行い、見事な杉、檜を育て美林を形成した。勤勉な県民性と世代を受け継ぎ持続するエネルギーを感じた。
今回、木曾路、越中、能登半島の山の富を見て、当村の林業の現状と対比したとき、林業県秋田を自負し、座して腕組みではならないうと、思いを新たにしている研修であった。

- 6月11日～12日 議会村内視察
- 6月12日 議会運営委員会
- 6月13日 新庄湯沢地域間高規格幹線道路 建設促進期成同盟会総会（雄勝町）
- 6月15日 一般国道13号湯沢横手道路（雄勝工区）着工式&着工祝賀会（雄勝町）
- 6月16日 自由民主党政経文化セミナー（秋田市）
- 6月17日 雄物川水系・成瀬ダム建設促進期成同盟会総会（増田町）
- 6月18日～21日 第2回定例議会
- 6月22日 第2回湯沢雄勝農業者大会（湯沢市）
- 6月23日 村猟友会総会
- 6月24日 長倉牧場開牧式
- 6月25日～27日 常任委員会合同先進地視察（長野県開田村、富山県なんと農協）



H14.7.2.議員交流研修（皆瀬村）

皆さんからの
「請願・陳情」
このように
なりました

採択となった請願・陳情

▼食品の産地偽装、不正表示の根絶と輸入食品の厳重な検査を求める請願

・農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門

※この請願は採択と決定し、内閣総理大臣など
国の関係機関に対して意見書の送付を行った。



榑台
高橋 みちこ
さん

「地域のめくもり」

私の住んでいる地区の旧榑川小学校は、学校創設から117年間という長い間、幾多の人々を育み世に送り、地域住民の灯台として灯りをともし続けた。

しかし、今は村に1小学校となり、学校から子供達の歓声もチャイムの音もびったりと絶えてしまい1年数ヶ月が経った。

自分のハエもなかなか追えない私に、昨年の春、旧榑川小学校の管理人の話がもち上がった。大役と思いつつ主人の仕事柄、また子供達が大変御世話になった学舎のことでもあり、引き受けた。

昭和53年12月に竣工した旧榑川小学校は、大きなたみもなく大切に使われて、どこからも光を遮られることもなく、とても明るい素晴らしい建物である。

名ばかり管理人の私ですが、地域役員を始めとする各団体の大勢の奉仕活動等により、地域住民の方々の情熱をいただいている。

記念碑に掲げられておる「想」の言葉通り、地域住民の方々に支えられている昨今です。そして地域にとって、この旧学校の活力ある有効な使用方法の行く末をあたたく見守りたい。

「村議会合併研究会」
を発足

議会では「市町村合併」に関して六月定例の開会中の六月十八日に、議会議員として様々な角度からの情報収集と的確な判断材料にするため「村議会合併研究会」を構成した。
構成は、議員全員が参加し、必要に応じて研修会や勉強会に積極的に参加し、資質を高めていくというもの。
会長には議長が、副会長には副議長が就任し、役員には二常任委員長が就任することとなった。
事務局は、議会事務局に置かれることとなった。

編集室

先月、新聞に、イチゴ栽培の記事が載っていた。露地物では、今が最高単価だそうである。山間豪雪地ゆえに、とかく不利地といわれるハンディキャップを、逆手にとった高冷地栽培イチゴ。
村でも積極的に勧めており、なお一層の生産拡大を望む。
コリア・ジャパンでアジア初のワールドカップ開催、熱き戦いが終わるまさに「兵どもが夢の後」である。
源氏ホテルから平家ホテルへと、村のホテルも代わり、静かな夏本番を迎えようとしている。
新聞では、毎日のように「市町村合併」の記事が賑わっている。人ごとではない。
東成瀬村の未来を決める「市町村合併」。わが村ができて以来の大きなうねりの中で、我々すべてに「この村をどうしていくのか」、真剣な議論と冷静な判断が求められている。
村でもこのための「座談会」を計画している。積極的に参加で「村の未来」を語ろう。
(委員・佐々木正夫)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3260
E-mail: gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/鶴田印刷株式会社